

進路だより スキルアップ 第1号

青森県立八戸高等支援学校 進路指導部 令和5年5月12日発行

Kくんのこと

こうちょう きくちやすひろ
校長 菊地康弘

4月に本校に赴任した校長の菊地康弘です。よろしくお願ひします。前任校でのお話をさせてください。コロナ禍で前任校である青森第一高等養護学校(知肢併置の高等部単独校)の学校祭は中止だったり、入場者を制限して開催したりするなどしていましたが、昨年度、3年ぶりに卒業生を招待しました。みなさん笑顔で、久しぶりの学校に気分も高揚しているようでした。男子は髪の毛を伸ばす方が多く、女子は髪を染めている方もちらほら見られました。みなさんおしゃれを意識し、着飾って来校したようです。卒業後免許を取得し、自分の車で来た方もいました。

一昨年度生徒会長を務めていたKくん(足に障害のある肢体不自由の方)の顔もありました。青森市外の出身で、在学中は寄宿舎で生活し、週末はバスで青森駅に行き電車で帰省していました。卒業後は、青森市内の事業所に一般就労し、事業所の近くのアパートを借りて、一人生活を昨年の4月から始めました。寄宿舎生活をおくっていたということで生活スキルが高いようです。自炊をし、毎日お弁当もつくって職場に持って行っているとのことでした。休みの日は、バスに乗り買い出しに行ったり、友達が部屋に遊びに来たりして、充実した日を過ごしているようでした。

働き続けるためには、やはり仕事のことだけでなく、生活の場がきちんとしていることが大事なことでと改めて知らされました。彼の話を見ると、物欲がないということが自分の強みで、給料だけで生活し、貯蓄も毎月行っているとのことでした。障害基礎年金をもらえるようになると、全額貯蓄に回せそうです。お金を貯めて何をしたいのか聞いてみると、特になんかということでしたが、運転免許を取るかもしれないということでした。お金を貯めておくことで、生活する上で選択肢がより広がります。これからもKくんのことを応援し続けたいです。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

本校の進路指導について

進路指導主事 竹井秀行

◆5月2日（火）に配布した資料は保管をお願いします。

先日の保護者懇談会で本校の進路指導についての説明をさせていただきました。限られた時間で説明しなければならなかったため、矢継ぎ早に新しい言葉が出てきて、その都度質問をしたかった保護者の方もいらっしやったのではないのでしょうか。出席することができなかった御家庭にも配布しましたので、是非一度目を通していただければと思っております。進路に関わる重要な事項については、今後の参観日等で詳細を説明させていただきます。また、御質問などございましたら、学級担任を通してお知らせください。

◆保護者の皆様の御協力が不可欠です。

2年生の実習の前には、実習先に保護者が同伴していただく必要があります。また、3年生になりましたら、希望する進路によっては、市町村役場に手続きの申請をしたり、ハローワークなどに出向いて面談をしたりする必要があります。懇談資料の3年間のスケジュールにある【保】のマークを見て「保護者の出番がけっこうあるな！」と感じた方もいらっしやったと思います。

生徒の進路実現のためには、保護者の皆様の御協力が不可欠ですので、早い時期から御家庭で生徒を交えて進路についての話をしていただければと思います。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

～・～・～・～・～ **進路に関する日程** ～・～・～・～・～

日 程	内 容	
5/26（金） 14：00～	福祉サービス説明会	3年生保護者を対象に、卒業後の福祉サービス利用に関する手続き方法について、講師（八戸市役所福祉部障がい福祉課）を招いて説明していただきます。